

# 平成21年度施策進行評価(内部評価)結果報告書(概要版)

## 1. 平成21年度施策進行評価について



施策進行評価は、第3次鎌倉市総合計画第2期基本計画における各分野の「めざすべきまちの姿」の実現を目指し、PDCAサイクルを念頭に置いた都市経営を推進するために行っています。具体的には評価可能な全27分野について市民満足度等の目標指標等の推移を分析しながら、これまでの取組を評価・見直し、今後の展開をつなげています。



平成21年度の施策進行評価は、分野を担当する各部長を評価者とし、目標指標、事務事業評価結果、実施計画事業の進捗状況等を資料として、分野における各施策の進行状況を評価し、「これまでの取組の評価」と「今後の展開」とをまとめました。

## 2. 評価結果について(施策進行評価(内部評価)結果報告書 3ページ～)

### 目標指標の推移(平成17年度値(当初値)と平成20年度値との比較)

指標	改善が見られた項目(分野)数		改善が見られなかった項目(分野)数		その他		合計
統計指標	33項目	78.6%	5項目	11.9%	4項目	9.5%	42項目
アンケート指標	21項目	61.8%	13項目	38.2%			34項目
満足度指標	25分野	92.6%	2分野	7.4%			27分野

いずれも改善が見られなかった項目数の率を大きく上回ったことから、第2期基本計画がほぼ順調に進行していることが伺えます。

### 満足度指標の上位・下位各5位

順位	分野名	満足度	順位	分野名	満足度
1	歴史環境	83.0%	27	道路整備	15.2%
2	観光	80.6%	26	勤労者福祉	25.1%
3	生活環境	79.9%	25	市街地整備	28.6%
4	消費生活	72.3%	24	多文化共生社会	37.7%
5	青少年育成	70.7%	23	健康福祉	38.4%
			23	産業振興	38.4%

## 3. 評価結果の活用、今後の展開について(施策進行評価(内部評価)結果報告書 6ページ～)

基本計画の推進に向けた課題・問題点に対する改善方法の検討資料とします。

実施計画事業・事務事業の推進等に活用します。

中期実施計画の平成22年度の事業採択における重要な資料として活用するほか、決算及び予算編成の資料として活用します。



現状の限られた経営資源を有効かつ的確に活用した上で、選択と集中をめざした評価を行います。

都市経営を担っていく上で、行政評価は必要なツールであることを各職員が再認識した上で、評価を実施し、その結果の反映に努めます。

第2期基本計画における各分野のめざすべきまちの姿や目標、施策の方針を念頭に置いた上で、成果志向を明確にした評価を行います。